

【別紙】

令和5年度「鳥取県農業改良普及所外部評価検討会」 評価結果一覧

普及所等組織名: 評価課題名	取組の概要	点数	結果	委員からの主な意見
鳥取: らっきょう安定生産 と産地活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・らっきょう産地の維持発展を図るため、関係機関と連携し、新規就農者の受け入れ体制の整備に努めた。 ・らっきょうの安定生産を図るため、優良系統の選抜、春期の灌水効果の確認、除草剤の効果確認等を実施した。 	16.5	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・産地維持に向け、幅広い視点から課題を選定し、目標設定がされていると思う。 ・若い生産者、女性の意見を吸い上げ、産地の将来につなげてほしい。 ・農家の経営規模が拡大し、植え付けや調整等作業員の確保が大変だと思う。生産者個々として取り組むだけでなく、JAや県をあげて人員確保を考えれば安定するのではないかな。
八頭: 特産物若桜の米・ エゴマの振興と地 域水田担い手の育 成 ～エゴマに係る普 及活動を中心に～	<ul style="list-style-type: none"> ・若桜町の特産物として定着しつつあるエゴマ栽培において、新たな課題となっている害虫をモンオビヒメヨトウと特定し、使用できる薬剤が少ない中で、その対策として、薬剤(BT剤)散布の効果を確認した。 ・栽培技術について、栽植密度・収穫適期・作業分散(品種導入)等を検討し、反収が増加するなど栽培技術向上を支援した。 	16.4	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・これから販売と収量をあげるバランスがうまくいって、若い人が取り組むようになればいいと思う。 ・地道な取組なので、長い目での取組をお願いしたい。 ・普及活動として、技術を向上し、収量を上げ、農家の意欲低下を防ぎ、町が販売支援というタッグを組んで取り組んでほしい。
倉吉: 担い手確保と「新甘 泉」生産拡大・品質 向上、「王秋」生産 拡大によるナシ産 地の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・梨産地の担い手を新たに確保するため、産地の情報発信や産地体験会の企画等を支援した。 ・新品種である「新甘泉」で新たに課題となった黒星病対策に取り組み、秀品率の向上に努めた。 	16.6	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・産地体験会の開催など、着実に普及活動を展開していると判断できる。黒星病への有効な対策が、今後の課題であると思われる。 ・今までは、地元へのビジョンの説明が手薄かなと思う。今後は生産部全体や産地PRに取り組まれるとのことなので、今後に期待大。 ・現状把握→課題の発見→生産者への落とし込み→実施の確認と、とても良いサイクルで情報交換・サポートができていると思う。ファンをたくさん作る取組を続けてほしい。
東伯: 酪農担い手農家へ の支援 ～T牧場の規模拡 大を目指した牛舎 移転支援～	<ul style="list-style-type: none"> ・T牧場の課題となっていた規模拡大について、周辺近隣の空き牛舎を賃借することによって初期投資を軽減し、規模拡大につながるように空き牛舎の所有者との調整や経営計画の作成を支援し、スムーズな規模拡大と牛舎移転につなげた。 	17.0	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・牛舎、圃場を継承し、移転拡大するという事例として、今後の参考ができた成果があった。 ・きわめて手厚い支援を実施され、その努力が実り、成功した取組であると思う。 ・畜産関係は新築改築に莫大な資金がいるので、まず、農家、大山乳業、普及所、JAの日頃からの情報共有が必要だと感じた。 ・えさの高騰などで酪農も大変だと思う。毎月の検討会で確認して、次につなげてほしい。
西部: 果樹の産地再生	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹団地の入植者の公募や現地説明会を行い、入植者4名の確保につなげた。 ・果樹団地に新規に入植した非農家出身の4名に対し、基礎的な栽培技術の研修を行った。また、他新規集就農者と合同研修を企画し、横の繋がりを作る機会を設けるなど、就農に向けて支援した。 	16.8	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりが繋がって、次世代につながる農業が出来上がっていけば、素晴らしいと思う。長い年月がかかるがよろしく願います。 ・果樹団地の再生という長いスパンで指導が必要な活動だと思うが、成果が出るまで普及員が変わっても指導を継続してほしい。 ・全体の活性化につながるよう、技術・経営の両面から寄り添った息の長い支援をお願いする。
大山支所: 水田担い手農業者 の経営安定支援 ～ドローンを活用 したリゾケア湛水直 播栽培の経営実証 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にも事例がない、ドローンを活用したリゾケア湛水直播栽培について、M農場が本格的に取り組むにあたり、技術面、経営面での調査を行った。 ・移植栽培に比べ、収量面やコスト面で課題があるものの、労働負担軽減につながる実証が実証された。 	18.0	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンの活用で、作業時間の短縮や軽減ができることは、今後の高齢化を見据えて、いいことではないかと思う。 ・高齢化が進んでおり、少しでも作業が楽になり、収量につながってほしいと思う。田んぼの維持につながっていくことを願う。 ・新しい課題に生産者と一緒に取り組む姿勢を評価したい。 ・経営・技術の実証が稲作の規模拡大等の道を拓くことを期待し、引き続き検証を続けてほしい。
日野: 新規就農者等の育 成確保	<ul style="list-style-type: none"> ・これまであった日南町の就農前の研修生向けの農業研修制度を日野郡全体の研修となるよう見直しを行い、座学や実習を45講義実施した。 ・新たに、日野郡内の白ネギ若手農家6名の「日野郡白ネギ若手生産者会」の立ち上げを支援し、お互いの圃場や作業場訪問をする動きにつなげた。 	18.1	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化が進んでいる日野郡でチャレンジしたり、サポートされている取組がとてもいいと思う。ますます元気になる農業のサポートを続けてほしい。想いがつまった行動は、次に継ぐことができると思う。 ・日野郡全体で新規就農者の確保のための活動(研修制度など)とてもいいと思う。若い農家とベテラン農家の交流があるといい。 ・人的コミュニティ形成、マインドの育成等の取組は、優良事例として意義がある。地域資源の特徴を生かした今後の取組に期待する。

【点数結果の凡例】

- ◎ 16点以上 : 優れた取組である
○ 12点以上16点未満 : 妥当な取組である
△ 12点未満 : 成果に乏しい取組である